

図書館だより

第2巻1号

□ 通巻73号 □

春季号

Bulletin of the Hokkai Gakuen University Library



▶ 巻頭言

2・三つの読書経験

— 抱負にかえて — 小野誠二

▶ 私の出会った本 (1)

3・無法松の一生 向田直範

▶ 語“楽、サロン (5)

4・木津先生の仏語ア・ラ・カ・ル・ト

橋爪先生の独語散歩

▶ レファレンス・コーナー

8・キーワード ・文献解題

9・紀要案内 ・イラン関係雑誌記事

・新書・文庫

▶ エアメール (1)

10・3年ぶりのアメリカ 小池直子

▶ 新着案内

5・教養関係 6・経済学関係

7・法学関係 10・工学関係

11・洋書特選

▶ ライブラリー特集

11・東西追悼集

▶ 古典の窓

12・隕石物語り (1)

— 隕鉄刀と榎本武揚 — 早川和夫

・古典カレンダー

12・編集後記



開 館 時 間	
月	～ 金 曜 日
9 : 30	～ 20 : 00
土	曜 日
9 : 30	～ 18 : 00

三つの読書経験

— 抱負にかえて —

図書館長 小野 誠 二

小学6年生になるまでに買って貰った唯一の本は『のらくろ二等兵』という漫画の本であった。それも、東京の織維間屋に丁稚小僧として奉公に上がっていて、月々の小遣いが僅か1円と少しという兄に、迷いに迷った末の決心をしてせがんでのものであった。3年生のときのことである。

その1冊の本は、しかし、私の想像力を大きくかき立ててくれた。描かれている絵と文字が何十倍にもふくらんだ。あるときはガラんとした2階の2間続きにしてある畳に寝ころび、またあるときは裏の大家さんの庭の芝生の上に転がり、繰り返し飽きもせず読み、そして見た。

思うに、それは、子供向けのただの漫画にすぎなかったようでありながら、実は小さい脳を鋭く刺激して、その想像力をぐいぐい引っぱり出してくれるものを盡きぬほどに蔵していた。ということは、言ってしまうと、人生の深い真実に触れていた漫画だったのである。いかに子供であろうとも、小学3年生にもなれば、人生の真実はわかる、と思いたい。

第一、のらくろ二等兵は孤児（孤犬）である。この一事にしてすでに私には、そのことを想うだけで、眼が本から離れたり、活字や絵が見ていて見えなくなったり、ときにはただページをめくるだけのことをしていたにすぎなかったりした。

のらくろが、赤い夕陽の沈む満州の曠野で、被弾して倒れた戦友を「しっかりせよと抱き起こし」ている場面では、私の胸は今にもはり裂けんばかりであった。

数日後の「図工」の時間に、絵が下手で、だから描きたくない私は、そうだ、とひらめくものがあり、紙いっぱい力を籠めて真赤に塗りつぶし、教卓で仕事をしている先生のところへ持っていった。「なんだ、これは。」と言われた途端、どうしたものか「夕焼けです。」と答えられなくなった。そのつもりで描いたはずなのに、そうは見えなくなったのである。「火事です。」と、いわばごまかした。「ふざけるな。」と怒鳴られ、物指しで頭をバシッと叩かれた。

14歳という、少年時代も終わる頃、私は明日は必ず死ぬに違いないと決心せざるをえなかった緊迫した1日をもった。空襲で私の住んでいた街もその大半が焼土と化し、明日もまた空襲のあることを知らせる「伝單」（宣伝ビラ）が撤かれた日である。

いくらかでも安らかに死ぬために私が思いついたのは、昔死んでいった人々がどのような死にざまを見せたか、あるいは、そんな大事の際、何に慰めを求めたか、といったようなことの例を歴史の本の中に見つけ出そうということであった。

早速、学校の図書室の入っている建物へと丘を駆け上がった。絵入りで大型の日本史の本を、眼を凝らして斜め読みを始めた。するうちに、心に強く牽かれたのが、応仁の乱で荒廃した京の都を詠んだ和歌である。それは、幕府の奉行の1人、飯尾彦六佐衛門の、

なれや知る都は野辺の夕ひばり

あがるをみても落つる涙は

という嘆きのうたである。

死を覚悟させるほどの深みのあるものではなかったが、震えて止まぬ乱れた心にやさしく滲み入る感傷がそこにはあった。それでよしとすることにした。時間もなかったのである。

翌朝まで、衣服を着けたまま、寝台のなかでも、眠りの合間にその和歌を念仏みたいに唱え続けていた。

明日は早く起きて1時間余り汽車に揺られてとなりの市まで行き、軍の学校を受験するという夜はどうにも落着かず、3時すぎにはすでにばっちり眼が冴えてしまっていた。思いきって、なんとなく自信のない国史（日本史）の教科書をふとんのなかに持ち込み、小声での速読を始めた。2時間くらいもかけて読み終えてしまった。と、胸の病気で半年ほど前から養生のために帰省していた兄が、すぐに並んでいる寝床から声をかけて寄こした。

「普段もそんなに熱心に勉強していたら、どんな難しい試験でも受かるよ。」

それは、励まし、というよりは嫌味に聞こえ、私の氣勢なり士気なりをそぐだけのことばにすぎなかったけれども、しかし、低い声での読書とはいえ、病気の兄を先刻から目覚めさせてしまっていたことを悔い、恥かしく思った。

兄は続けて言った。

「試験に落ちたっていいよ。そんなことよりも、勉強というものはそれができるときに精いっぱいしておくべきだと思うよ。なんのためにならなくたっていいじゃないか。今、お前が長いこと必死になって1冊の本を読んだということは、恐らく生涯忘れられない経験をしたことになるだろう。試験に受かる受からないのは二の次、三の次のことだと考え、それでも落着くことは落着いて頑張ってきたさい。」

茫々漠々 — 遠い昔のいくつかの読書の記憶である。

（おの・せいじ 教養部教授）

「本好きな児」の一つの徴候は、子供の時に家にあるおやじの本を手当り次第に読んでしまうことにあるらしいといわれている（白上謙一「ほんの話」）。今から考えると、わが家にもかなりの全集物があったように思われる。しかし私の小学生時代は、東映のチャンバラ映画の全盛期で、チャンバラ映画を見てそれを実践することに夢中で、本には目もくれなかった。読書らしい読書をするようになったのは、中学生になってからのことである。家にある本を手当り次第に読破し、遂には市立図書館にまで出掛けて行って本を読んだ（本を読むスピードの速さは、この時代の乱読によって養われたものである）。そこで吉川英治の「宮本武蔵」を読み、これが幼年時代のチャンバラ体験と相俟って私の読書傾向を決定づけることになった。これ以降、山岡荘八、山本周五郎、山手樹一郎、柴田錬三郎、五味康祐、山田風太郎、八切止夫、司馬遼太郎などの時代小説ないし大衆小説にのめりこんでいった。これらの作家の作品がすべてそうだとはいえないが、ほとんどの大衆小説が、勧善懲悪に基づいていることも私の気分合うのである。専門書を除くと、私が今まで読破した本の半分以上はこの種の大衆小説である。

これを書いている時、映画監督の稲垣浩氏が亡くなったことを知らされた。稲垣浩といっても知らない人がいるかも知れないが、「佐々木小次郎」「宮本武蔵」「忠臣蔵」「風林火山」などの大作を手がけ、時代劇の巨匠といわれた人である。特に戦争中につくられた、阪東妻三郎主演の「無法松の一生」は最高の秀作と評価されている。私は、それを見ることができなかったが、昭和33年に再映画化された、三船敏郎主演のもの（これはベネチア映画祭でグランプリを獲得した）を見て非常に感動した。さっそく角川文庫に入っている原作

向田直範（岩下俊作「無法松の一生」）を購入し、読んでみたが、期待は裏切られなかった。

小説の筋は、社会の底辺に生きる粗野で無教養な男が美しい未亡人に恋をするが、それを口に出すことなく胸に秘めたまま寂しく死んでいくという、極めて簡単なものである。しかし主人公の松五郎の人間性、つまり無法者といわれた荒くれ男のもつ他人への思いやりと優しい心に、まず感銘を受けた。松五郎が未亡人への思慕を祇園太鼓にぶつける場面は、三船敏郎扮する松五郎のバチさばきと重なり合って、最も感動的な美しい箇所である。くり返し読んでも飽きが来なかった。中学・高校時代、愛読書は何かと問われれば、私はこの本を真っ先にあげるのが常であった。友人等はこのような小説を愛読書としてあげる私に、その題名の故に白い目を向け、この小説をなかなか理解してくれなかった。この本の良さはいずれ彼らにも解してもらえると、自らを慰めていたものである。かくて映画に影響されて、小説「無法松の一生」は私の愛読書の一つとなったわけである。

映画評論家の佐藤忠男氏によると、映画「無法松の一生」は、「粗野で無教養な男の無垢の純情」という、今日の『寅さん』映画や高倉健の一連のヒット作などの原型であるという。私が今だに高倉健の「番外地」シリーズや「寅さん」シリーズを好むのも、その点である。本の話から映画の話になってしまったが、小説にせよ映画にせよ、大衆文芸というものは、それを支持する大衆が存在することによってのみ可能である。勧善懲悪を求める平均的日本人がそれを支持しているというわけである。その論法でいくと私も平均的日本人であるといえるであろう。

（むかいだ・なおのり 法学部助教授）

館長ならびに図書委員の紹介

図書館長	小野誠二（教養部教授）
図書委員	
教養部	佐藤卓司助教授
経済学部	小林真之助教授
法学部	吉田敏雄助教授
工学部	米森 文嗣教授



● 語“楽”、サロン ●

木津先生

の仏語アラカルト

ジャリヴ
J'arrive

パリの「イタリア門」近くの街で、フランス生活を始めて間もない夕暮、帰路のとあるパン屋によって、^{ボン ソワール マダム}“Bon soir, Madame (今晩はオバチャン) ^{ユヌ ヌグゼット}une baguette (棒パン一本) ^{ドボン ケユイット}bien cuite. (よく焼いてあるのを)”。大柄のふとったパン屋のオバチャンが紙に包まないで裸のまま手渡してくれるバゲットを、手で捧げ持ち、その先端をかじりながら歩く、このお行儀の悪い解放感はパリならではのもの。その夜私の部屋をノックする音。開けると大きな犬がヌーッと顔を出し、その後の人影をよく見れば、夕刻のパン屋のオバチャン。鉄砲玉のようにフランス語を浴びせかけながら差出すものを見れば、私の身分証明書ではないか。どうやら先刻パンを買った時に落したらしい。そしてやや道のあるのに、パン屋のオバチャンが届けてくれたという次第。ビックリした私は咄嗟のこととて^{メルシ、メルシ}“Merci Merci (有難う)”。と言うばかり。パリの庶民の人情は日本と変りないと、心からパリが好きになり、それ以後この^{フーランジュール}boulangere (女パン屋)と仲好くなった。夕方店が混んで来ると、オバチャンは奥に向かって^{ルイズ}“Louise”と呼ぶ。^{ジャリヴ}“J'arrive”という答が返って来て、お手伝の^{パリジ、エンス}parisienne (parisien の女性形、パリ娘)が飛び出して来る。この文章の動詞 arrive (原形 arriver) の原義は「到着する」であるから、名前を呼ばれて「今行きます」と日本語で言うところが、「今到達します」となるのかと合点する。この場合、^{ジュ、ヴィアン}“Je viens”. (私は来ます)。とも言い、「行く」と「来る」とが日仏逆になることのあることを示している。つまり、日本語に比して、フランス語では相手方をたてた表現をとるように思われる。「お先に」が^{アフレイ、ヴ}“Après vous (あなたの後から)”。となるのもそうした表現心理の現われであろう。こんなニュアンスが分って来た頃、パン屋のオバチャンは「Marci しか言えなかったお前のフランス語が上達をした」と毎度私をからかうのだった。

(きず・りゅうじ 教養部教授)

橋爪先生

の独語散歩

ドイツ語発音事始

「ギョエテとはおれのことかとゲーテいい」

freshman が大学を実感する一つは、独語 (od. 仏語) の講義に於いてではあるまいか。そこで今回はその入口である発音の周辺の散策。A B Cは置くとして (これとて英語読みで代用することあたわず)、^{ウムラウト}Umlaut (変母音) のä, ö, ü や β が出て来ると、「アー、英語ではない」と感ぜざるを得まい。ところで概してドイツ語の発音は我々にとって易しいといえる。基本的な発音をマスターすれば、あとはローマ字読みで、難しい哲学書の類も読むだけは出来る!? 従って本稿でもみられるカナ発音は大いに有効である。ところがöはカナ発音化が難しい。それは先人達の^{ゲーテ}Goethe のカナ書きの苦心の程をみればわかつかうというもの (ä, ö, ü は活字がないときは ae, oe, ue で代用されるように、発音も同じ)。森鷗外には『ギョエテ伝』あり、「ゲーテ」とやった学者もいる。今でも古本屋などで見かける本に『ギョエテ研究』というのがあります。事ここに至って、とうとう「ギョエテとはおれのことかとゲーテいい」などと川柳で皮肉られるはめになりました。とはいえ長音のöに関しては「エー」が一番近いといえます。(昔の学者は物好き? が多かったようで、同じドイツの詩人 Heine を「ハイネ」— 女の人? — と書きあらわしたりもしている。) ところでゲーテと並称される Schiller はシルレルとカナ書きされましたが、これは語尾の -er を几帳面に「エル」としたからでしょう。しかし日常的発音では、アクセントのない -er は母音化して軽い「ア」に近くなります。更に重子音は一個の子音のように発音されるので「シラー」でよい事になります。ちなみに、かの福沢諭吉大先生は the United States of America をザ・ウンテド・スタテス・オップ・アメリカという如き発音知識をひっさげて、当のアメリカに乗り込んだといえます。古人は辞書が足りなくて、自書にて写本しました。その点、現在はいあまりに恵まれているといえます。そしてまた恵まれすぎてだめだともいえるようです。

(はしずめ・たつお 教養部助教授)

新着案内

教養関係

(昭和55年1月以降に受入、整理された図書のうち)
主なものを選択して掲載しています。

- 読書人の立場 谷沢永一著 桜楓社 1977
019 Ta 88
- 本とその周辺 — NHK越味の手帳より — 文化出版局編集部編 文化出版局 1977
020.4 B 89
- 博物館学 倉田公裕著 東京堂 1979
069 Ku 56
- 元田永孚文書1～3 元田竹彦 海後宗臣編 元田文書研究会 3冊 1969～1970 121.3 Mo 83
- 知性の探求 飛田就一編著 法律文化社 1979
130 H 54
- パウル・ティリッヒ1 W.パウル M.パウク著
ヨルダン社 1979 133.9 P 28
- 記憶の科学 D.A.ノーマン著 富田達彦訳 紀伊国屋書店 1978
141.3 N 96
- シルクロードと仏教文化 岡崎敬〔等〕著 東洋哲学研究所 1979
180.1 O 48
- 日本文化小史 — 知識人の登場 — 村井康彦著 角川書店 1979
210.1 Mu 41
- 日露関係史 1697～1875 真鍋重忠著 1978
210.5 Ma 43
- 暗黒日記 清沢冽著 橋川文三編・解説 評論社 1979
289.1 Ki 91
- フォード回顧録 — 私がアメリカの分裂を救った — G.R.フォード著 関西テレビ放送編 サンケイ出版 1979
289.3 F 39
- 歴史の町なみ 保存修景計画研究会編 日本放送出版協会 1979
291.08 R 25
- ワシントン通信 白井健策著 朝日新聞社 1979
302.53 Sh 81
- 地球病の時代 — 富者の倫理・貧者の倫理 — G.リーン著 田村源二訳 日貿出版社 1979
304 L 47
- 霞ヶ関の憂鬱 — ドキュメント通産省2 — 角間隆著 PHP 研究所 1979 317.25 Ka 28
- 逸脱の社会学 — 烙印の構図とアノミ — 大村英昭 宝月誠著 新曜社 1979
361.01 O 64
- モラトリアム人間の心理構造 小此木啓吾著 中央公論社 1979
361.5 O 53
- 師道 小原国芳著 玉川大学出版部 1974
370.4 O 11
- 愛の場所 — 教育哲学序説 — 三井浩著 玉川大学出版部 1974
371.1 Mi 64
- 自然の博物誌 宇宙 小尾信彌著 日本放送出版協会 1979
408 Sh 93
- 自然の博物誌 山 式正英著 日本放送出版協会 1979
408 Sh 93
- ウェザー・マシーン — 気候変動と氷河期 — N.コールダー著 原田朗訳 みすず書房 1979
451 C 13
- ライフ・ゲーム — 生命の起源と進化 — N.コールダー著 和田昭充 橋秀樹訳 みすず書房 1979
466.1 C 13
- 痛みと闘う 清原迪夫著 東大出版会 1979
490.4 Ki 85
- 心と身体対話 — バイオフィールドバッグの世界 — 上 B.B.ブラウン著 石川中監訳 紀伊国屋書店 1979
493.09 B 77
- アルコール依存症 齊藤学 柳田知司 島田一男編 有斐閣 1979
493.15 Sa 25
- フロイトの美学 — 精神分析と芸術 — J.J.スペクター著 秋山信道訳 法政大学出版会 1978
701.1 Sp 3
- 青木繁 — その愛と放浪 — 松永伍一著 山口睦夫 河井邦彦写真 日本放送出版協会 1979
723.1 Ma 83
- 音楽に誘われて 篠田一士著 集英社 1978
760.4 Sh 66

新着案内

＝ 経済学関係 ＝

- 経済記事に強くなる本 秋山哲編 エール出版社
1979 330.4 A 38
- 新企業集団物語 小林幸雄著 東洋経済新報社
1979 335.2 Ko12
- 経済学の世界 アメリカと日本 佐和隆光著 東洋経済新報社 1979 330.4 Sa 193
- 国際比較経営論 大島国雄著 森山書店 1979 335.9 O77
- サービス経済学入門 井原哲夫著 東洋経済新報社 1979 331 I 25
- 組織現象の理論と測定 野中郁次郎著 千倉書房 1978 335.94 N95
- J.S. ミル初期著作集1 J.S. ミル著 杉原四郎山下重一編 御茶の水書房 1979 331.32 Mi 27
- 労務管理の着眼点 — 分析・評価・改善 — 岸恒男著 改訂版 同文館 1979 335.96 Ki 56
- マルクス経済学と近代経済学 玉野井芳郎著 日本経済評論社 1979 331.34 Ta 78
- 経営分析 — 基礎と実践 — 染谷恭次郎 木下照嶽著 森山書店 1979 335.96 So36
- ケインズ D. E. モグリッジ著 塩野谷祐一訳 東洋経済新報社 1979 331.39 Mo 16
- 円高と東京外国為替市場 小川高弘著 東洋経済新報社 1979 337.7 O24
- 現代の経済学者 L. シルク著 稲田献一 八木甫訳 日本経済新聞社 1978 331.39 Si 4
- 経済政策とインフレーション 辻村江太郎著 改訂版 東洋経済新報社 1979 337.9 Ts 44
- 新SNA入門 — 経済を測る新しい物さし — 経済企画庁国民所得部編 東洋経済新報社 1979 331.8 Ke 29
- 信用と銀行資本 大内力著 東大出版会 1978 338.01 O91
- 金森久雄の日本経済講義 金森久雄著 日本経済新聞社 1979 332.1 Ka 45
- ユーロカレンシー市場 日本興業銀行特別調査室編 金融財政事情研究会 1979 338.9 N77
- 東欧経済史 I. T. ベレンド G. ラーンキ著 南塚信吾監訳 中央大学出版部 1978 332.3 B38
- すぐに役立つ企業の税務会計事項取扱全書 日本実業出版社編 1979 345.3 N77
- ナチス独逸の経済的発展 米国産業協議会編 大原社会問題研究所 1940 332.34 B32
- NIPPON—a charted survey of Japan 1979/80 矢野恒太記念会編 国勢社 1979 351 Y58
- フランス産業革命と恐慌 本池立著 御茶の水書房 1979 332.35 Mo 84
- 大変貌 — 社会思想の大移動 — 1930—1965 H.S. ヒューズ著 荒川幾男 生松敬三訳 みすず書房 1978 363.02 H98
- 国際経済の理論 — その発展と体系化のために — 木下悦二著 有斐閣 1979 333.6 Ki 46
- 現代の社会政策 石畑良太郎 佐野稔編 有斐閣 1980 364.1 I74
- 南北問題入門 小野一一郎 吉信肅編 有斐閣 1979 333.8 O67
- 留岡幸助著作集1～3 留岡幸助著 中条明子〔等〕編 同朋舎 1978 369.08 To51
- 資本主義発展の基本理論 金子貞吉著 青木書店 1980 333.9 Ka53
- 日本の防衛産業 富山和夫著 東洋経済新報社 1979 559.09 To59
- 現代資本主義分析の基礎理論 常盤政治著 日本評論社 1974 333.9 To33
- 世界貿易論 E. ベヒラー著 長谷川幸生訳 中央大学出版部 1979 678.2 B31

- 現代政治理論叢書 8 勁草書房 1978 310.8 G34
- 政治思想への中世の貢献 A. P. ダントレーヴ著
友岡敏明訳 未来社 1979 311.2 D61
- 現代日本の政治権力経済権力 大嶽秀夫著 三一
書房 1979 312.1 O82
- 近代日本の政治家 岡義武著 岩波 1979
312.8 O36
- 日本憲政史大綱上下 尾佐竹猛著 復刻版 宗高
書房 1978 313.8 O74
- 地方の時代の創造 地方自治政策研究会編 第一
法規 1980 318 C43
- 現代国際理論 J. フランケル著 齊藤孝訳 東大
出版会 1979 319 F44
- ソ連と中国 — 友好と敵対の関係史 — 上下
O. B. ボリーソコ B. T. コスコフ著 滝沢一郎訳
サイマル出版会 1979 319.38 B65
- アチソン回顧録 1.2 D. G. アチソン著 吉沢清次
郎訳 恒文社 1979 319.53 A15
- キッシンジャー秘録 1 H. キッシンジャー著 齊
藤彌三郎〔等〕訳 桃井眞監修 小学館 1979
319.53 Ki59
- 現代日本の国際関係 — 安保体制の法的批判 —
松井芳郎著 勁草書房 1979 319.8 Ma77
- 岩波六法全書 昭和55年版 末川博編 岩波
1980 320.91 I95
- 六法全書 昭和55年版 1.2 鈴木竹雄 田中二郎
編 有斐閣 1980 320.91 R69
- 現代社会の法と人間 久野康彦著 泉文堂 1978
321.01 Ku48
- 事物の本性論 N. ボビオ〔等〕著 原秀男訳 成
文堂 1978 321.1 B31
- 法制史研究 27.28 法制史学会 1977 322.05 H91
- ローマ私法概説 M. カーザー著 柴田光蔵訳 創
文社 1979 322.315 Ka74
- 国権の限界問題 菅野喜八郎著 木鐸社 1978
323.01 Ka58
- 新仮登記担保法の解説 吉野衛著 金融財政事情
研究会 1978 324.2 Y92
- 有価証券届出書 報告書の作り方見方 松土陽太
郎 金子雄美著 中央経済社 1979 325.6 Ma75
- 不真正不作為犯の理論 日高義博著 慶應通信
1979 326.01 H54
- 刑法の基本思想 — 現代刑法学の課題 — 中山研
一著 一粒社 1979 326.01 N45
- 刑法の根底にあるもの 西原春夫著 一粒社
1979 326.01 N82
- 犯罪形態論序説 西村克彦著 有信堂 1966
326.3 N84
- アメリカ司法と計量法学 早川武夫著 有斐閣
1979 327 H46
- 法律文書の読み方 小林資明著 ぎょうせい
1978 327 Ko12
- 弁護士への道 — 生きべくんば民衆とともに —
大塚一男著 晩聲社 1978 327.14 O88
- 司法書士試験のための司法書士の実務 昭和54年
版 尾浪正雄〔等〕編 週刊住宅新聞社 1979
327.17 O65
- 民事訴訟法仲裁手続の解説 倉田寛吉著 中央大
学出版部 1979 327.5 Ku56
- 冤罪の研究 グループ社会派編 現代ジャーナリ
ズム出版会 1979 327.6 G88
- 国際人権条約資料集 芹田健太郎編 有信堂
1979 329.13 A92

辞典案内

- 新約聖書ギリシア語辞典 玉川直重著 キリスト
新聞社 1978 193.5 Sh69
- 日本占領研究事典—共同研究—思想の科学研究会
編 徳間書店 1978 210.76 N77
- 近代人物号筆名辞典 近代人物研究会編 柏書房
1979 281.03 Ki42
- 北海道史人名字彙上下 河野常吉編〔復刻版〕
札幌 北海道出版企画センター 1979
281.1 Ko76
- ロシア・ソビエト姓名辞典 鳴海完造編 ナウカ
1979 288.1 R89
- 科学用語辞典 独・日・英 ラテン語篇 大槻真
一郎著 同学社 1979 403 Ka16
- 新数学事典 一松信〔等〕編 大阪書籍 1979
410.3 Sh62
- 土木術語掌事典—図説— 河村協編 現代理工学
出版 1979 510.3 D81
- 旧修辞学便覧 R.バルト著 沢崎浩平訳 みすず
書房 1979 801.6 B25

キーワード

オムブズマン (Ombudsman)

行政監査委員。政府機関・国家公務員に対する一般市民の苦情を処理する立法府任命の委員。北欧諸国に始まり、英国・ニュージーランドなどに広まった。もとはスウェーデン語で「代表者・代理人」の意。(現代用語の基礎知識 1980年版より)

— 文献 — (本学所蔵)

- 『渡辺宗太郎先生古稀記念論文集』有信堂
1970 323.95 W46
- 『オムブズマン制度の比較研究』小島武司(等)
(日本比較法研究所研究叢書4)1979 314 Ko39
- 『田中二郎先生古稀記念〔論文集〕』(下Ⅱ)
有斐閣 1977 323.04 Ta84
- 「私的オムブズマンと行政調停制度」萩原金美
「オムブズマンの構造と哲学」『ジュリスト』
No.624 (1976.11.1)
- 「議会による行政統制」『公報研究』36号(1974)

文

献

解

題

人名辞(事)典

世界

岩波西洋人名辞典 1956年改訂 岩波書店編集部
編 昭和31(1956)年 1,962頁 283.03 I95

ヨーロッパ・南北アメリカ・中近東・アフリカ・
太平洋・インドを含め、古代の歴史的人物から現
存人物まで、約2万3千名をかな見出しして配列。
巻末に人名の原綴アルファベット順索引がある。

世界人物事典 旺文社 昭和42(1967)年1,310頁
281.3 Se22

古今東西にわたる各界・各層の人物約1万2千
名収録し、その人物の生いたちや業績などを的確
に記述している。巻末に画索引とアルファベッ
ト索引がある。

日本

大人名事典(平凡社)全10冊
平凡社 昭和37(1962)年 280.31 D19

日本の代表的な人名事典である。ここに収録さ

れた古今の人名は、外国人を含め約8万人である。
とくに歴史上の人物の略伝を知るために便利な事
典である。1～6巻に日本人物故者、約5万名。
7～8巻に外国人物故者及び現存者、約1万2千
名。9巻に現存人物、約8千名。10巻は索引で、
姓名・雅号から検索できるようになっている。こ
の他、補遺・天皇系図・人物名類一覧(三筆・六
歌仙の類)が収められている。

日本人名大辞典(新撰大人名事典)覆刻版

全7冊 平凡社 昭和54(1979)年 281.3 N77

この人名事典は、本巻6冊と現代編(増補版)
1冊を加えて、全7冊である。
本巻の収録範囲:古代から昭和13(1938)年8月
末日までの物故者を対象として、特に日本歴史の
代表的人物を収めている。

現代編(増補版)の収録範囲:昭和13(1938)年
9月以降、昭和53(1978)年8月末日までの物故
者を対象にし、およそ6千名におよんでいる。

紀要案内

北海学園大学法学研究 15(1)(通30):昭54/7

■論説

袁世凱と壬午・甲申事変 藤岡喜久男
「経済的損害」の賠償(1)—イギリスのネグリジェ
ンス判例における賠償範囲の法政策論を中心に—
菅原 勝伴

教育をうける権利 (XI) —アメリカ・西ドイツ
に関する法的約検討— 千葉 卓

■研究ノート

ローテフトの錯誤論について(1) 須田 晟雄

■資料

中国におけるアメリカ裁判所の裁判例 (VIII)
欧 龍雲

■紹介

三民主義の法哲学—洪遜欣(Hung Hsun -hsin)
述『我國現行民法原理之研究』(Taipei, 1965)
訳 鈴木 敬夫

〔北海学園大学開発研究所〕開発論集

28: 1979 / 12

■論文

「自由貿易帝国主義」論小考 海保 幸世
最近の北海道の雇用動向と室蘭地方 美馬 孝人
法人成りと租税(1) 藤原 雄三

■研究ノート

日本における地域開発政策研究の現状(1)
池田 善長
加藤 和暢

寄贈雑誌

〔北海道工業高等学校図書館〕道工らいぶらりい
1 (昭55/3) —

光塩学園女子短期大学紀要 1 (昭54/3) —

国際金融年報 1978 / 1979: 1 (昭54/7) —

〔国士館大学〕日本政教研究所紀要1(昭49/2) —

京都産業大学世界問題研究所紀要1(1)(昭55/4) —

〔名古屋大学総合言語センター〕言語文化論集

1 (昭55/3) —

大阪経済法科大学図書館報 楽音1(昭55/4) —

立教大学大学院法学研究1(昭53/3) —

〔東京経済大学大学院〕東経大論叢1(昭55/3) —

筑波大学経済学論集4(昭54/10) —

〔筑波大学〕筑波フォーラム10(昭53/3) —

雑誌●誌●特集

—イラン関係雑誌記事—

(エコノミスト・文芸春秋・中央公論・プレジデント)
トの4誌から主なものを掲載しています。

エコノミスト

イラン石化国家事業化への疑問 1979.10.16
〈イランからの報告〉第一弾、ホメイニ体制の
現状と行方 1979.10.23
〈イランからの報告〉第二弾、南部油田地帯を
行く 1979.10.30
石油窮乏時代—日本の活路をさぐる—
1979.11.15臨時増刊

米イラン経済戦争の衝撃 1979.12. 4
イラン人によるイラン革命論 1980. 1. 1
イラン革命の根底にあるもの 1980. 1.22
対談イラン断交に踏み切った米国 1980. 4.22
米イ紛争の新局面と世界危機 1980. 5.13

文芸春秋

白と黒の革命 57 (7~12): 昭54 / 7~12
イスラームの論理と生理 58(2): 昭55 / 2

中央公論

イランの人質外交と日本 95(1): 昭55 / 1

プレジデント

イスラム共和国の惑星ホメイニ師
17(7): 昭54 / 6

—新書・文庫—

(昭和55年1月以降受入・整理された図書に掲載し)
ています。

岩波新書

労働現場	鎌田 慧	黄版110
公害摘発最前線	田尻 宗昭	黄版111
生命を探る 第二版	江上不二夫	黄版112
メキシコからの手紙	黒沼ユリ子	黄版116
寺社勢力	黒田 俊雄	黄版117
J.S. ミルと現代	杉原 四郎	黄版118

中公新書

巡礼の道	渡辺 昌美	No.566
博物館の世界	梅棹 忠夫	No.567
江戸の本屋(上)	鈴木 敏夫	No.568
イスラームの心	黒田 寿郎	No.572
結び目の謎	額田 巖	No.573
企画の技法	加藤 秀俊	No.574

BLUE BACKS

触媒とは何か	宮原孝四郎(共著)	B 416
暗号の数理	一松 信	B 421
四次元問答	都筑 卓司	B 422
機械の再発見	中山秀太郎	B 423

新着案内

工 学 関 係

理科年表 第52冊 昭和54年 東京天文台編纂
丸善 1978 [項目別頁付] 15cm 403.2 To46

太陽エネルギー利用 戸倉仁一郎〔等〕編著 共
立出版 1979 444.2 To72

省エネルギー学 上・下 川下研介著 生活技術
センター 1979 501.26 Ka97

構造計算便覧 水原旭〔等〕編 新版 産業図書
1979 501.34 Ko98

風力エネルギー読本 本間琢也編 オーム社
1979 501.6 H85

新体系土木工学 6.8.67.70.91. 土木学会編
技報堂 1979 510.8 Sh69

現場技術者のための土質工学 最上武雄 福田秀
夫編 改訂版 鹿島出版会 1978 511.3 Mo16

バーチカルドレーン工法の設計と施工管理 吉国
洋著 技報堂 1979 511.3 Y89

土木計画学序説 内田一郎著 森北出版 1979
513.1 U14

道路工事シリーズ1. 全国建設研修センター編
森北出版 1979 514.08 D87

道路維持修繕要綱 日本道路協会編 改訂版
1978 514.8 N77

世界のハイウェイ 高速道路協会編 1979
514.95 Ko88

エメール

三年ぶりのアメリカ

小池直子

3年ぶりにアメリカのカリフォルニアへ行ってきましたが、その変化に驚くと共にアメリカの精神というものがあるいろいろな苦難をへて又、新しい方向へと転換していく様子を見てきました。サンフランシスコ湾は、おだやかにさざなみを立てていましたし金門橋は何度見ても雄大でした。

人々の服装は以前のようにあでやかな色でなく落ちついたしぶい色を多くみました。まず気づいた点は黒人と他の人種との人間関係が少なくとも以前よりもとてもよいということです。まず、それは黒人の自分達自身に対する自信によると思うのです。黒人の衣服もスタイルも洗練されていました。又、三年前には中国人町が昔ながらのチャイナタウンと新しいクレメント通りにあるのと二つだったのが今度はバルボア通りにもできつつあるのです。ユダヤ系の人々等は中国人商法には少々いやげがさしているようです。メキシコ系、中国系等発音のちがう人達がデパート等で多く働くようになったので相

手が何とといったのか注意しなければならない状態でした。

サンフランシスコから地下鉄で30分位でカリフォルニア大学に着きます。カリフォルニア大学の図書館は中央図書館と他の科目別の図書館とでなっています。図書館は大学の中心であるゆる研究者、学生に必要なサービスをするという精神でつらぬかれています。たとえば日本人で学生でなくても身分証明書だけで本を読むこともコピーすることもできますし、\$10はらって1年間有効の図書カードを買えば何冊でも本を借りだすこともできます。コピーにしても1枚\$5でとれる機械は各階ごとにあって、本1冊をコピーしたい場合でも次の日までにとっておいてくれるサービスもあります。アメリカの大学はほとんど、どの大学でも夜は市民に開放され講座が開かれており、勉強は文字どおり、生涯教育となっています。ベトナム等からの難民に対する処置にしてもバイリンガルのクラスを用いて本国語と英語の両方の文化の尊重を学ぶようにしむけています。このように異質の文化や生活習慣を理解し、自他ともに認め合う精神を培うように仕組まれているのです。

(こいけ・なおこ 教養部講師)

東西追悼集

東

- 天野 貞祐 (あまの・ていゆう 1884・9・20－1980・3・6) 哲学者・教育者
 出 隆 (いで・たかし 1892・3・10－1980・3・9) 哲学者。出隆著作集 全9巻
 頸草書房 121.08 I 19
 吉川幸次郎 (よしかわ・こうじろう 1904・3・18－1980・4・8) 中国文学者。吉川幸次郎全集 全23巻 筑摩書房。 920.8 Y89
 中山伊知郎 (なかやま・いちろう 1898・9・20－1980・4・9) 経済学者。中山伊知郎全集 全19巻 講談社。 330.8 N45
 土岐 善磨 (とき・ぜんまろ 1885・6・8－1980・4・15) 歌人・国文学者 近代日本芸術史
 内田老鶴圃。 702.16 To31
 黄昏に 東雲堂。 911.56 To31
 大内 兵衛 (おおうち・ひょうえ 1888・8・29－1980・5・1) 経済学者。大内兵衛著作集 全12巻 岩波書店。 330.8 O91

西

- サルトル (Sartre, Jean Paul 1905・6・21－1980・4・15) (仏) 哲学者・作家・評論家
 サルトル全集 全38 人文書院。135.9 Sa69
 Jean-Paul Sartre ; a bibliography of international criticism. 135.9 W73
 オパーリン (Oparin, Aleksandr Ivanovich 1894・3・2－1980・4・21) (露) 生化学者。
 生命の起源 岩波書店。 466.1 O69
 生命の起源と生化学 岩波書店。 466.6 O69
 生命の起源への挑戦 講談社。 466.1 O69
 ヒチコック (Hitchcock, Alfred Joseph 1899・8・13－1980・4・29) (英) 映画監督。スリラー映画の創始者。
 チ トー (Tito 本名 Josip Broz 1892・5・25－1980・5・4) ユーゴスラビアの政治家。
 '53年初代統領, '63年終身大統領となる。

(掲載図書は、いずれも所蔵されているものです。)

洋書特選

△教養関係では、イラストのある「シェクスピア」The annotated Shakespeare, Vol. 1－3 (938－Sh12) が親しめる。F・ÜberwegのGrundriss der Geschichte der Philosophie (130－U12)は哲学史を概観したものとして著名。他にプラトンのA companion to Plato's Republic. (131.3－W68) を英文で読める。
 △専門書では、ピグーのKeynes's General theory. (331.39－P64). Macro-economic planning. (331.01－B68) が経済学。法学では「欧米の競争法」Competition law in Western Europe and the USA. (328.1－C85). 工学関係ではスリール島の事故を取り扱ったReport of the president's Commission the accident Three Miles Island. (543.49－R28) がある。

語・感・六・感
 —あなたの翻訳—

著者と書名をお当て下さい。

Man is born free; and everywhere he is in chains. (Everyman's library.)

原文は、

L'homme est né libre, et partout il est dans les fers. (Pleiade 版)。

解答は次号で訳と共に紹介します。ふるってご応募下さい。お名前・学年をお忘れなく。

わたくしが榎本武揚という人物に興味を持つのは、彼が日本で初めて隕鉄から日本刀を作り、その顛末を「流星刀記事」という科学論文にまとめた人だからです。武揚が隕鉄刀を作る元になった白萩隕鉄を手に入れたのは、彼が農商務大臣在職中の明治28年のことでした。富山県の白萩村から地質調査所に鑑定依頼に出された鉄の塊を所管大臣の武揚が、自費で大金を支払って買い求めたのです。

元小樽商大学長の加茂儀一先生は「榎本武揚……明治日本の隠れたる礎石」という本を、小樽在任中にまとめました。わたくしも武揚の隕鉄刀には以前から興味がありましたので、しばしば加茂先生をたずねて隕石談議を交わしたことは楽しい思い出であります。

武揚が隕鉄から日本刀を作ることを思いついたのは、千島樺太交換条約を結ぶために駐露公使として明治7年から同11年まで、首都ペテルブルグ（現レニングラード）に滞在した時のことです。

当時のロシア皇帝の宝物殿を拝観した武揚はその中に天から降った鉄で作った剣があるのを見て非常に興味を覚えました。こうして武揚は隕鉄と隕鉄刀に関するデータを十分に収集して帰朝しました。

武揚は帰朝後、多くの大臣を歴任しましたが、農商務大臣在任中に、白萩隕鉄が偶然手に入ったのです。多分その時、武揚はかつてレニングラードで見た隕鉄刀のことを思い出して、チャンス到来とほくそえんだことでしょう。

大臣を辞任した明治30年、武揚は刀工・岡吉国宗に命

じて3本の隕鉄刀を作り、これを流星刀と名付けました。武揚当時の天文知識では、隕石や隕鉄は流れ星のカケラと考えていたことがわかります。現在では隕鉄は小惑星の破片であると推定されています。

3本の隕鉄刀は武揚の孫係に伝えられていますが、わたくしは昨年夏のこと、そのひとりである榎本隆充さん（光学会社社長・東京）をお願いして、同家に家宝として伝わる隕鉄刀の小刀を拝見することができました。

隕鉄はニッケルと鉄の合金ですから、これに鋼をまぜて作った隕鉄刀もニッケル・鉄の特徴が出てきます。それは隕鉄のみが持つ特殊な結晶構造が刀の表面に浮き出て、一見して普通の日本刀と異なることがわかります。専門的には、ダマセン模様といって唐草模様そっくりです。何しろ地球外の物質なのですから。




武揚が隕鉄に支払った大金の出所は、彼が小樽駅周辺に所有していた約十萬坪の土地から得たものかもしれません。小説を書いたら面白いと思います。

今でも小樽駅前には梁川（りょうせん）通りと呼ばれる小樽一の繁華街が海岸に平行に展開しています。これは武揚の雅号・梁川に由来します。ところで小樽の人達は「やなかわ」通りと呼んでいます。この街を歩く人は、武将にして政治家、そして隕鉄研究家であった明治の偉才・榎本武揚の特異な才能を偲んで下さい。

次回はボーイズ・ビー・アンビシャスのクラーク先生と隕石研究のお話です。ご期待願います。

（はやかわ・かずお 工学部教授）

古典の窓

 芸術	理論は灰色で緑なのは 生の黄金の樹だけなのだ 「ファウスト」(岩波文庫)	ゲ テ	名 句 四 季 選	テ モ ク リ ト ス	無は有と同様に存在する 「知者たちの言葉」(岩波新書)	 科学
26	シェークスピア Shakespeare (1564) 「まことの恋はすらすら運んだためし はない」(真夏の夜の夢)	カ レ ン ダ ー	古 典	…レオナルド・ダ・ヴィンチ Leonardo da Vinci (1452)	7	
5	本居宣長 (1730) 生誕250年	'80 春		…マルクス Marx (1818)	5	
7	チャイコフスキー Chaikövkii (1840) ブラームス Brahms (1833)	○ 4月 □ 5月 ◇ 6月 日付は 生誕	…アダム・スミス Adam Smith (1723)	5		
30	ダンテ Dante (1265) 「われにつきて来たれ、この民を言う にまかせよ」(神曲)	…ルソー Rousseau (1712)	「経済学は人民と主権者との双方 を富ますことを目的とする。」(国富論)	5		
6	プーシキン Pushkin (1799) 「世渡りも大あわて、恋の道も大急ぎ」 (オネーギン)	…ルソー Rousseau (1712)	「ひとり徒歩で 旅したときほど、ゆたかに私自身であっ たことはない」(告白)	21		

編集 後記

- ライラックの花が咲き、さわやかな季節に、復刊2年目を向え隔月刊から季刊へ、手書きから写植印刷へと気分も一新、約2ヶ月遅れの春季号をお届けします。
- 次号は7月10日発行の予定です。

北海学園大学附属図書館報「図書館だより」Vol. 2 No. 1 (通巻73号) 1980年4月10日発行
 北海学園大学附属図書館発行 062 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 電話011-841-1161 (代表)
 内線、総務係272 整理係273 閲覧係274~275